

特定非営利活動法人
日本雲南聯誼協会

【東京本部】〒162-0846 東京都新宿区市谷左内町 21-13 1階
Tel. 03-5206-5260 Fax. 03-5206-5261
Email: yunnan@jyfa.org
URL: http://www.jyfa.org/
【雲南支部】中国雲南省昆明市人民東路 289 号集大広場 2011 室
Tel. +86-871-3311468 Fax. +86-871-3320658

編集・発行人 初鹿野恵蘭
印刷協力 株式会社日経印刷 株式会社技術評論社



Japan Yunnan
Friendship Association

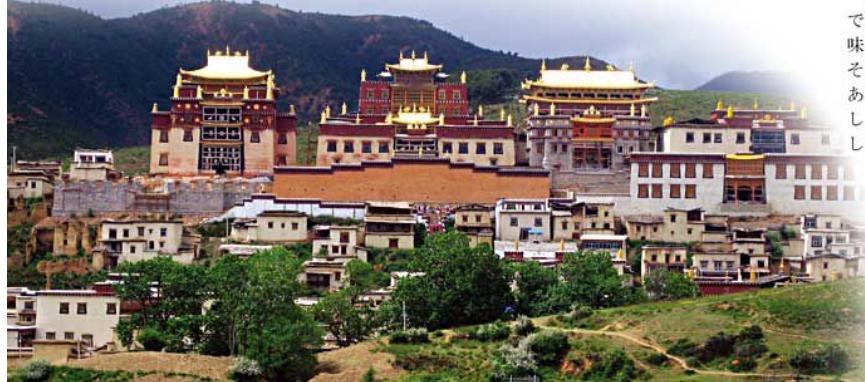
彩雲の南

開校式の旅特別号

発行日 2007年(平成19年)9月1日

会報

協会会員・支援者がゆく 中国雲南省ふれあいの旅



迪慶チベット族自治州シャンギリラの「松贊林寺」は、小ボタラ宮の別名を持つ

小学校の開校ごとに行なわれる、会員・支援者も参加しての雲南省を巡る旅では、景勝地を訪れたり、名物料理を食べたり、雲南省の雰囲気を体いっぱい味わうことができます。何よりも楽しみは、同じ目的を持った仲間との結束、そして、現地の人々とのかけがえのない触れ合いです。さて、笑いあり、感動あり、ハプニングありの雲南省に触れる旅、今回はどんな珍道中となつたのでしょうか? 今年5月、6月に開催された、3地域に跨つての3つの旅を追体験しましょう!



旅の仲間とともに(昆明空港)



- 第13、14校目小学校開校式の旅
- 第12校目小学校視察の旅
- 第11校目小学校開校式の旅

世界遺産の古都「麗江」 夢の理想郷「シャンギリラ」



顔合わせの自己紹介
ご夫妻で参加の新井さん

観光地「麗江」の賑やかさに圧倒

昆明のホテルで、ひとりひとり自己紹介を終え、旅への期待を膨らませた一行。向つたのは、風情ある町並みが印象深い、雲南省最大の観光地麗江。中心地「四方街」付近のホテルで一泊し、その雰囲気を存分に味わったものの、夜は外があまりに賑やかで、眼れない人が続出しました。



麗江古城の入り口で、ハイタス!



生活の匂いがする町「石鼓鎮」

高倉健主演の「車窓、千里を走る」のロケ地にも選ばれたこの町が、皆さんの記憶には一番残ったそうです。ちょうど市場がたつていて、生活の匂いを感じる素朴な町でした。



上) 古鎮を通る、通称南方シルクロード「茶馬古道」



下) 市場を覗く伊藤さん、入沢さん

息を飲む「虎跳峡」の激流

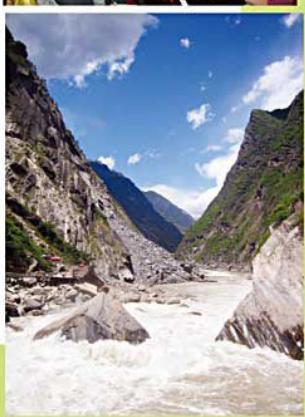
さて、旅はいよいよ麗江地区から、迪慶チベット族自治州シャンギリラへ。その道中、深い渓谷を流れる激流が見所の「虎跳峡」を見学することになりました。虎跳峡では、メインスポットまで人力車が出ています。参加者の萩原さんは、皆さん同様、車に乗りこんだところ、しばらくしてから「疲れたから、ここからは歩いてくれ」と車夫さんに言われたそう…。



虎跳峡をバックに、左から千葉さん、小澤副団長、
スタッフ七田



虎跳峡を覗きこんで、ぞくり…
写真は伊藤さん、萩原さん



ゴミ箱撮影大流行!
実は、ナシ族のトンバ文字が
描かれているんです



上) ナシ族の聖地「玉龍雪山」
を望む雪杉坪で
右上) 麗江のガイド金華さんと一緒に、古城見学の始まり
右下) 麗江での晩餐会は、中国風しゃぶしゃぶ火鍋。小澤副団長の作る雑炊は、皆さんに大人気でした!



花咲き乱れる「シャンゲリラ」へ



赤秋といふ名には、
うるさい花が染まる
うらはうらの花



炭鉱節を全員で練習！



おもてなし文化！

開校式で日本側参加者が披露した炭鉱節は、ホテルでの涙ぐましい練習の成果だったのです。盆踊りは、アジア教育友好協会の佐藤さんからご提案。赤いはっぴは、副団長の小澤さんが町内会から借りてくださったもの。本番での大成功は、まさに皆さん努力の結晶でした！



歌川さんは子供たちとすっかり仲良しです



伊藤さんと小澤さんはチベット族のおじさんにタバコを拝借



奥脇さんの撮った写真と一緒に見る「康巴漢子（カンバハンズ）」

シャンゲリラでは地元の人との交流の場面が多く生まれました。チベット族に限らず、雲南省の少数民族はとてもフレンドリーで優しいのです。

旅行参加者（敬称略）

歌川栄子、歌川令三、新井英光、新井横尾、下岡克幸、遠間菜津子、倉田恒二、細倉アキ、川村明子、小澤文穂、小島岩男、長谷川幸子、伊藤卓子、細田信子、入沢敬吉、萩原光廣、伊藤明男、萩原久子、小林由美、奥脇弘久、谷川洋、佐藤佳子、川口邦夫、岡田考司、千葉絆子、市村晃、大野修一、加藤尚志、北原茂実、初鹿野惠蘭（理事長）、七田怜（東京本部）以上、総勢31名

文化の継承地「建水」
不可思議な奇岩地帯「石林」

左）協会の老朋友、昆明の袁勤さんと青木さん 中央）茶館でプーアル茶を味わう 右）建水の孔子廟を見学



下）石林の碑文をじっくりと観察



石林でナニ族の踊りに参加。旅の疲れでクタクタの皆さんも元気復活！



石林を背にして、参加者全員で。楽しそうですね！



上）建水では、今でも生活に井戸が使われています



現地パートナー雲南省帰国華僑联合会の鐘主席と

旅行参加者（敬称略）

青木宏之、中谷耀子、小寺かをる、吉田晶子、菅原裕子、初鹿野恵蘭（理事長）、七田怜（東京本部）以上、総勢7名

北回帰線の通る町「墨江」
昔ながらの老昆明を巡る

峰尾さん、線上でお祈り！？ここで大声を出ると、自分の声がすぐ耳元で聞こえます…不思議！

キタカイキトーテムポール？



移動距離が1500キロを超えたこの旅では、観光地の自由時間が骨休めの時間になりました。古きよき老昆明を訪ね、皆さんすっかり昆明通に！



お買い物中の小澤さん（上）と峰尾さん（下）なにを買ったのですか？



昆明の錦竹寺 五百羅漢像が有名です



旅行参加者（敬称略）

北原茂実、小澤文穂、峰尾勝美、峰尾洋子、初鹿野恵蘭（理事長）、狩野千尋（東京本部）、林娜（雲南支部）以上、総勢7名



墨江は、亜熱帯気候と温暖気候の境にある、北回帰線が通る町として知られています。北回帰線を示す線を跨いで参加者一同で大はしゃぎ。楽しい思い出になりました。